

本校の重点教育目標は「わかる、できる、つかえる子ども」の育成です。これは、本校の子どもたちの課題とこれまでの教育活動の取組の成果、そして、これからの社会を見据え、教育目標を具現化した姿です。

七重小学校の保護者の皆様

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果について

今年度の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果が公表されました。90名の児童が参加した本校の平均正答率は、国語が62.1%(全国平均比2.9ポイント低い)、算数は66.8%(同3.2ポイント低い)でした。

国語、算数ともに、記述式問題を読み解く力に課題がみられました。本校の記述式問題の平均正答率は、国語が35.9%(全国平均比4.3ポイント低い)、算数は48.3%(同4.7ポイント低い)でした。問題文が長かったり、図表を読み解いたりする問題で正答率が下がっています。

一方、指導の改善により成果がみられる問題も昨年よりも増えています。また、すべての問題の無解答率も、全国平均よりもかなり低いポイントでした。主体的に問題に取り組もうとする児童が多いことがわかります。

昨今の課題である読解力や思考力、表現力の育成。今年度も全国的な課題の一つとして、指摘されています。これらの力は、「いくつか情報がある中で、問題を解決するために必要なものはどれなのかを取捨選択し、読み取ったことをもとに、自分の考えをつくり出す」という力です。全国学力テストをはじめ、北海道の多くの学校で実施しているチャレンジテストや単元テスト、高校・大学入試なども、近頃は読解力や思考力、表現力をみる問題が数多く出題されています。つまり、10～20年後、児童が社会に出るときには、このような力が必要になってくるということです。

全国学力テストにおける正答率が十分ではない問題や指導の改善が求められる内容については、これからも継続的に指導の改善・充実を図り、児童一人一人の学習内容の確実な定着につなげていきます。

また、児童生徒の学習意欲や生活実態を把握する学習状況調査の結果も公表されています。保護者の皆様との確かな情報の共有がお子様の心身の健やかな成長に大きく関わってきます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

### 教科に関する調査結果概要

令和3年度	国語			算数		
	平均正答数	平均正答率	全国比	平均正答数	平均正答率	全国比
本校	8.7/14 問	62.1%	-2.9% (-0.4 問)	10.7/16 問	66.8%	-3.2% (-0.5 問)
北海道	8.9/14 問	63.5%	-1.5% (-0.2 問)	10.8/16 問	67.5%	-2.5% (-0.4 問)
全国	9.1/14 問	65.0%		11.2/16 問	70.0%	

「令和3年度全国学力・学習状況調査」の問題・正答例（国立教育政策研究所）

- 【国語】 問題 [https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21mondai\\_shou\\_kokugo.pdf](https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21mondai_shou_kokugo.pdf)
- 正答例 [https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21seitourei\\_shou\\_kokugo.pdf](https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21seitourei_shou_kokugo.pdf)
- 【算数】 問題 [https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21mondai\\_shou\\_sansuu.pdf](https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21mondai_shou_sansuu.pdf)
- 正答例 [https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21seitourei\\_shou\\_sansuu.pdf](https://www.nier.go.jp/21chousa/pdf/21seitourei_shou_sansuu.pdf)

「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果」（文部科学省）

<https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/21summary.pdf>

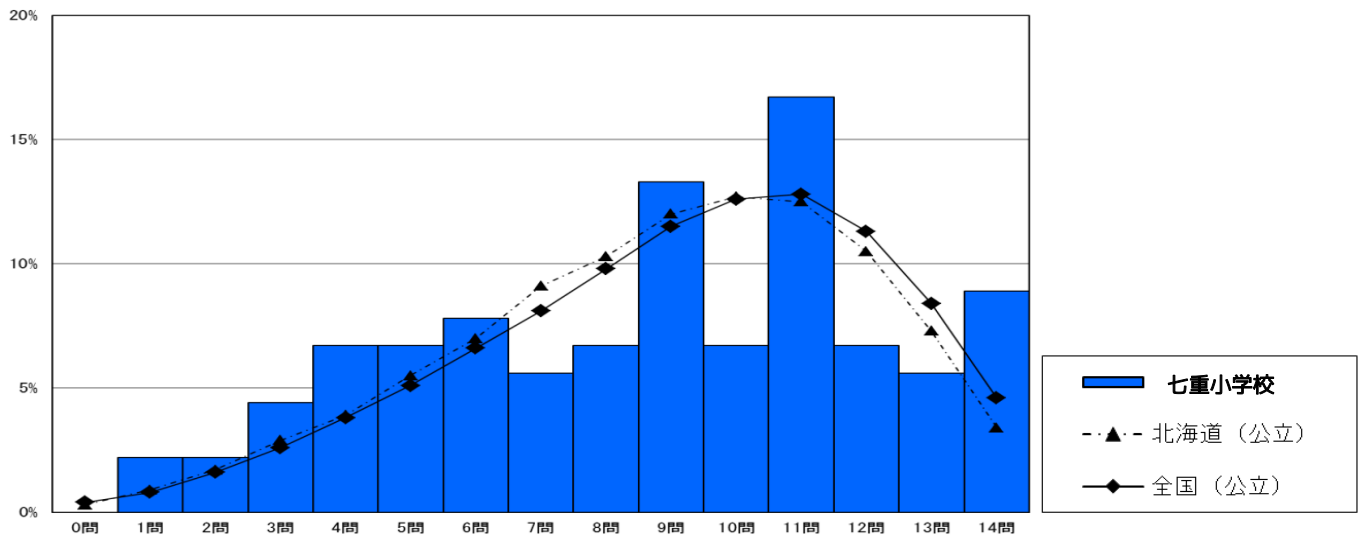
# 小学校国語

## 1. 分類・区分別結果

■ : 全国比5ポイント以上低い 赤字 : 全国以上

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)			
			本校	北海道	全国	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.8	67.1	68.3	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	75.9	75.4	77.8
		B 書くこと	2	49.4	60.4	60.7
C 読むこと		3	44.1	45.2	47.2	
評価の観点	知識・技能	6	67.8	67.1	68.3	
	思考・判断・表現	8	57.4	60.3	62.1	
問題形式	選択式	8	67.5	69.8	71.7	
	短答式	3	72.6	70.6	70.6	
	記述式	3	35.9	38.3	40.2	

## 2. 正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



## 3. 指導の改善により成果がみられる問題

問題番号	区分	出題の趣旨
① (3)	A 話す・聞く	目的や意図に応じ、資料を使って話すこと。
② (3)	C 読む	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。
③ (3)	(1) 言葉の使い方	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
③ (3)	(1) 言葉の特徴	文の中における主語と述語、修飾と被修飾との関係を捉えること。

## 4. 指導の改善が求められる問題

問題番号	区分	出題の趣旨
② 一	C 読む	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること。
② 二	(1) 言葉の使い方	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。
② 三	C 読む	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。
② 四	C 読む	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
③ 一	B 書く	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えること。
③ 二	B 書く	目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

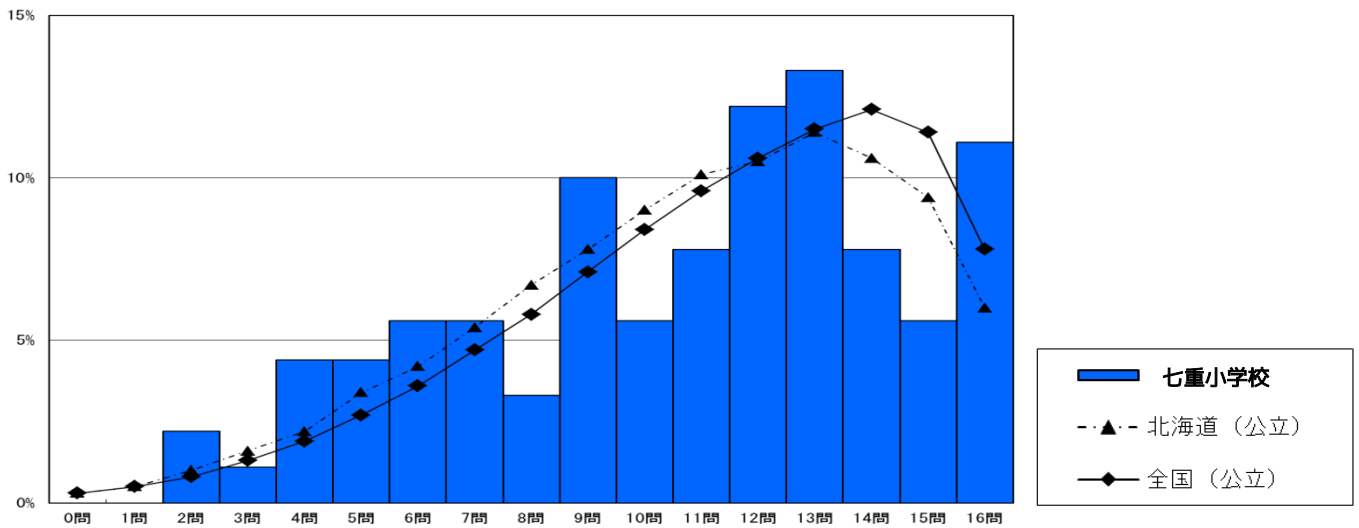
# 小学校算数

## 1. 分類・区分別結果

■ : 全国比5ポイント以上低い 赤字 : 全国以上

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			本校	北海道	全国
学習指導要領の領域	【A】数と計算	4	54.2	59.4	63.1
	【B】図形	3	57.4	54.0	57.9
	【C】測定	3	70.0	72.4	74.8
	【C】変化と関係	3	68.9	72.5	75.9
	【D】データの活用	5	77.1	75.0	76.0
評価の観点	知識・技能	9	72.0	71.3	74.1
	思考・判断・表現	7	60.0	62.5	65.1
問題形式	選択式	6	76.1	74.6	76.0
	短答式	6	69.6	72.3	75.8
	記述式	4	48.3	49.5	53.0

## 2. 正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



## 3. 指導の改善により成果がみられる問題

問題番号	区分	出題の趣旨
② (3)	B 図形	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素等に目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること。
③ (2)	D データの活用	棒グラフから数量や項目間の関係を読み取ること。
③ (4)	D データの活用	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること。
③ (5)	D データの活用	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断すること。

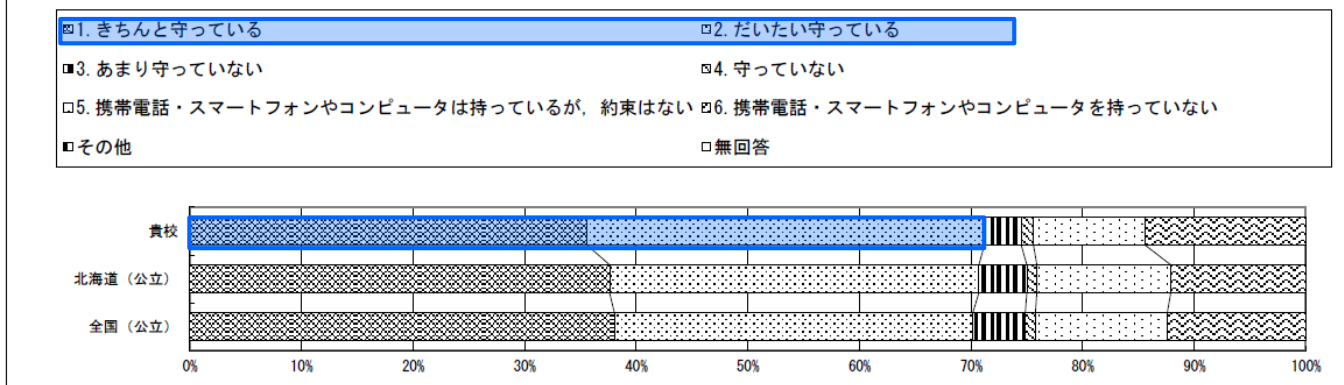
## 4. 指導の改善が求められる問題

問題番号	区分	出題の趣旨
① (1)	A 数と計算 C 測定	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること。
① (2)	C 変化と関係	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること。
① (5)	C 変化と関係	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと。
④ (1)	A 数と計算	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること。
④ (2)	A 数と計算	商が1より小さくなる等分除 (整数) ÷ (整数) の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること。
④ (3)	A 数と計算	小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用し、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述すること。

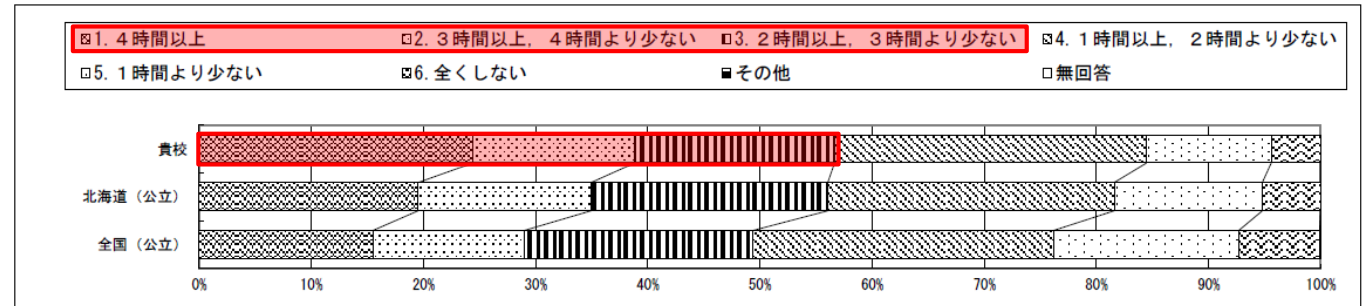
# 質問紙調査結果

## ご自宅でのスマートフォンやゲームの利用について

### 1. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



### 2. 普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム (コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む) をしますか。



7月にChromebookの持ち帰りを行いました。Wi-Fi接続へのご協力ありがとうございました。今後、Chromebookをご家庭に持ち帰り、毎日の学習(家庭学習や学習ドリルアプリなど)で活用することを検討しています。

今の6年生は85%の児童がスマートフォンや携帯電話を所持しています。調査からは70%の児童が「約束を守っている」と肯定的な回答していますが、スマートフォンやSNSによるトラブルも増えています。また、平日の使用時間が2時間以上の児童が56%と、6年生の半数以上が該当します。

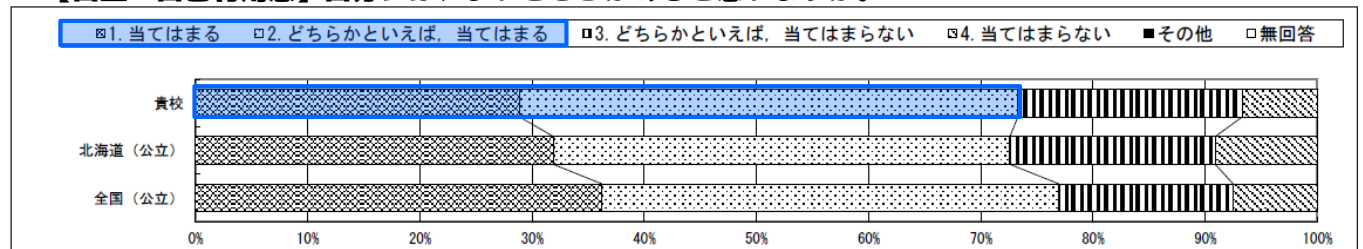
各家庭でどのような使い方をすれば良いのか(使用する場所や時間、インターネットの利用に関する家庭のルールづくりなど)をお子さんと一緒に話し合う機会をもっていただき、トラブルや人間関係のもつれに発展することのないようにしていただきたいと思います。本校では、今年度も七飯中学校から教員を派遣してもらい、6年生向けにスマートフォンやSNSの使い方の出前授業を行っていく予定です。

【資料】「七飯町Chromebook活用のルール」について

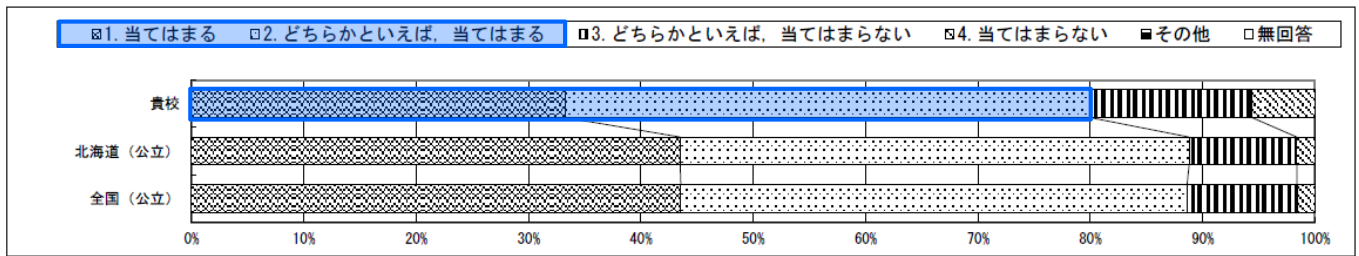
[https://drive.google.com/file/d/1wS9VP2-HIYaZx9w4OZxmG5Cl6LaBoz\\_N/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1wS9VP2-HIYaZx9w4OZxmG5Cl6LaBoz_N/view?usp=sharing)

## 本校の重点「自律」(自分を知る)、「共生」(相手を知る)、「協働」(集団を知る)について

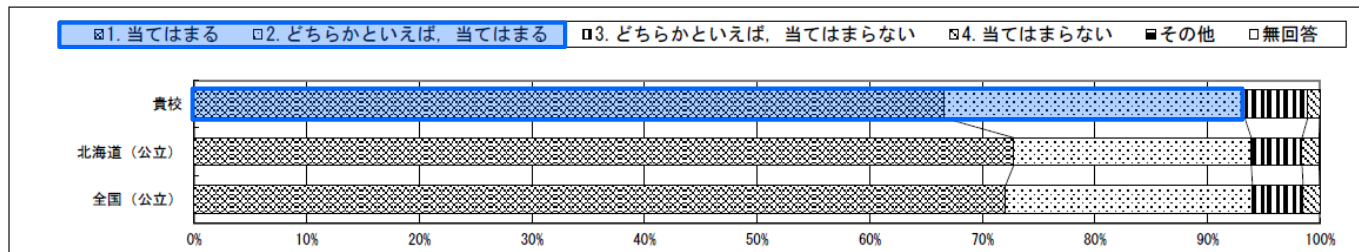
### 3. 【自立/自己有用感】自分には、よいところがあると思いますか。



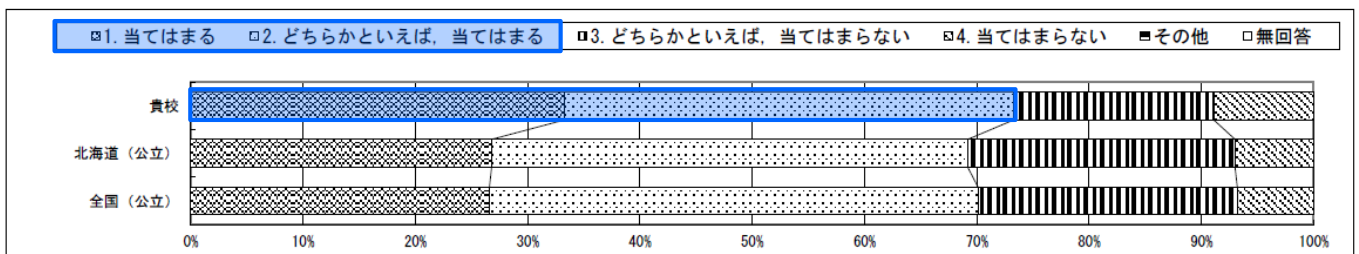
#### 4. 【共生】人が困っているときは、進んで助けていますか。



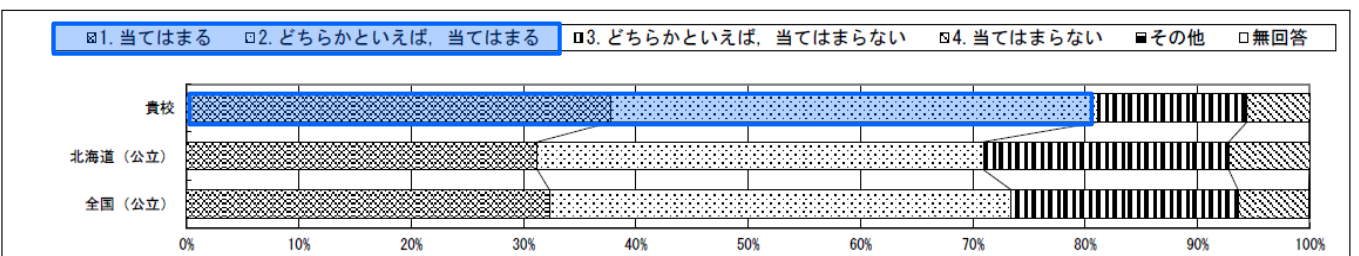
#### 5. 【協働①】友達と協力するのは楽しいと思いますか。



#### 6. 【協働②】自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



#### 7. 【協働③/NPU】あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。



「自律」（自分を知る）・・・73% 「3. 自分には、よいところがある」  
 「共生」（相手を知る）・・・80% 「4. 人が困っているときは、進んで助けている」  
 「協働」（集団を知る）・・・93% 「5. 友達と協力するのは楽しいと思う」

「自律」「共生」「協働」については、一昨年度よりポイントが増加しています。本校の課題でもある「自己有用感」に関しても、ポイントの増加がみられました。

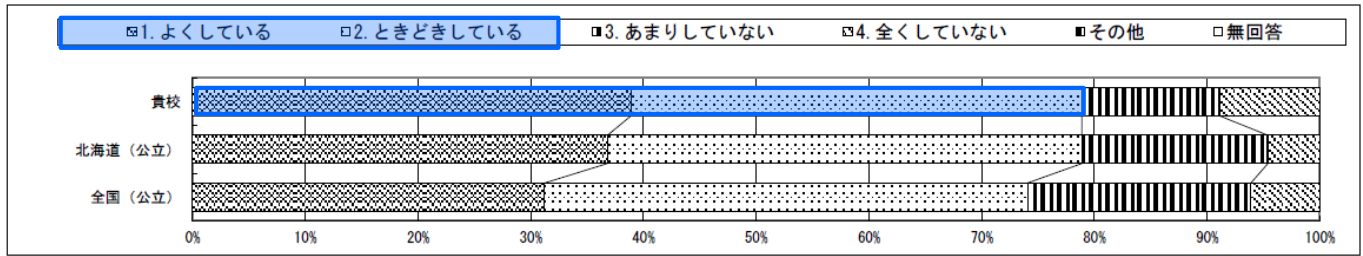
本校では、継続的に人間関係を築いたり、人と上手にかかわったりする「技術」を身に付ける「ソーシャルスキルトレーニング」を実践しています。生まれつきソーシャルスキルを身につけている人はいません。誰もが、人と関わり合う中で経験しながら後天的に身に付けていきます。学級でソーシャルスキルに取り組むことで個人に良い変化がもたらされ、その変化を認め合うことで、温かく親和的な学級の形成をめざしています。今後も、「人の話を聞くスキル」と「相手の気持ちを考えながら関わるスキル」の2つにターゲットを絞って取り組んでいきます。

また、「協働」に関するものとして、「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」については、肯定的な回答が80%を超え、全国比でもかなり高い割合となっています。3年前より「学級力向上プログラム」(NPU:なないろパワーアップ会議)に取り組んでいます。児童一人一人が客観的に学級の課題やよさを見つめ、どのような手立てをとることがよりよい学級へとつながるのかを学級全員で合意形成し、学級・学年での実践につなげています。

今後も、安心・安全・安定した学校生活をめざし、児童相互の積極的な関わりを創出していくとともに、保護者の皆様とも協働して推進していけるよう、努めてまいります。

## 学習について

### 8. 【家庭学習】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

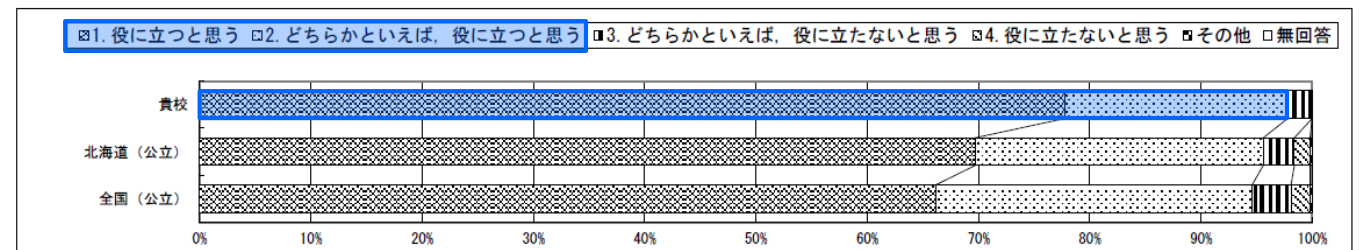


家庭学習を「している」と肯定的な回答をした児童は昨年よりも 20 ポイント以上も増加し、80%います。日々の学習の継続の重要性を認識しながら、家庭での学習に励んでいる様子が見えてきます。ご家庭の皆様のご協力にも感謝いたします。

高学年では、ただ宿題をこなすだけではなく、自分で計画的に学習を進めることが求められます。中学進学に向けて、大切なポイントです。家庭での学習習慣が身につくと中学校の学習に対応しやすくなります。合わせて、自分の課題に応じ、計画的に勉強することを行ってほしいと思います。

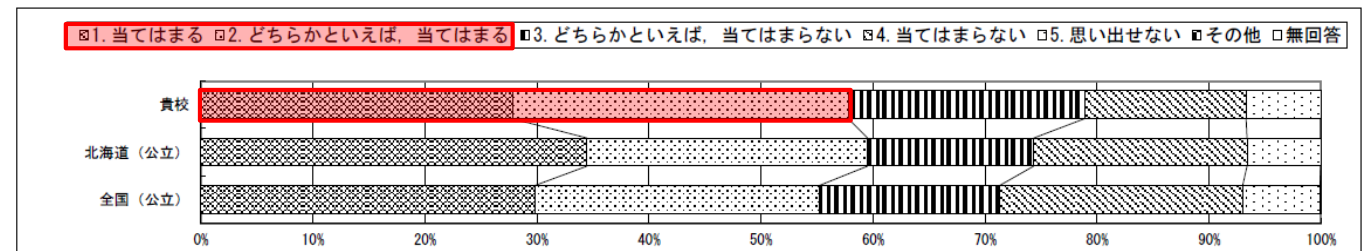
本校では、「学年×10分+10分(6年生では70分)」を目安に家で机に向かうことを推奨しています。今後とも、ご家庭での声かけや励ましを重ねてお願いいたします。

### 9. 【Chromebook】学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

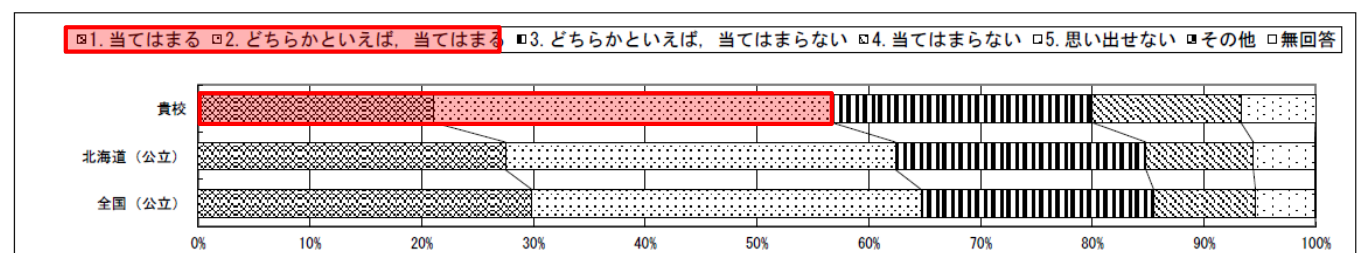


5月より本格的に使用している Chromebook。現在は全学年で使用をしています。3年生以上では、1時間の授業の目標の達成のため、児童一人一人の資質・能力の向上のため、授業での積極的な活用が図られています。今後は、個に応じた指導における Chromebook の利活用を推進し、わかる授業、楽しい学校生活に向けた持続可能な取組を実践していきます。

### 10. 【新型コロナ】多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。



### 11. 【新型コロナ】多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。



休校中、「勉強に不安を感じた」「計画的な学習ができなかった」と回答した児童が約 60%いました。現在、道内では感染力が強いデルタ株の流行が続いています。休校や学級・学年閉鎖が相次いでいる中、本校でも一人一人の学びの保障を確実にするため、Chromebook を使用した双方向型オンライン学習の在り方について、検討しています。また、児童の心身の状況の把握や心のケア等について、教職員、保護者の皆様と共有する体制を整えています。ご心配なことがあればどうぞご相談ください。